



第75号 2007年5月

発行:萩ネットワーク協会  
〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458  
萩ポータルサイト「萩・情報の駅」  
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

## 主な目次

ふるさと文学散歩⑧国木田独歩と富永有隣	P4
ズームアップ「江本隆一」(大阪府)	P6
追悼 永田秀一先生	P10
夢追人 「吉村孝」(萩市)	P12

春景図(上)と秋景図(下)の2点があり、春景図は、満開の花をつけた梅の木のもと、バラやタンポポ、スマレなどを配し、白いキジや小鳥を遊ばせています。秋景図は、竹林に集う2羽の雁を中心に、周囲にキクや芙蓉、ススキなどの秋の草花を配しています。

濃彩や金地・金雲が多用され、平明で華やかな画面づくりは、父・雲谷等益の流れをくみ、岩や樹木などは雪舟に近いものがあります。

## 雲谷等璠「花鳥図屏風」

## 萩博物館「萩藩雲谷派の世界」展



## 萩市の 重点施策

# 子育て支援・ 人材確保へ 独自事業

## 中国地方初!! 24時間保育

萩市では、夜勤を伴う保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、市内の民間保育園に委託して、24時間保育事業を始めました。市の事業として24時間保育を実施するのは中国地方では初めて。

これからは、市内の病院の看護師から「夜勤の間、子どもを預かってくれる保育所を設置してほしい」という要望を受けたことから、萩市が子育て支援の重点施策として実施するもの。

24時間保育を実施するのは日の丸保育園(恵美須町)。保育士2人が常駐し、1歳から6歳までの幼児を受け入れます。

あなたの定住を応援します!

## 萩ふるさとターン応援団

～穏やかに流れる萩の生活を  
楽しんでみませんか～

中心としたUJターンの希望者から100件を超える問い合わせや相談が寄せられ、4世帯の移住が実現しました。

これからは萩市への移住をご希望される皆さんを応援しますので、お気軽にご相談ください。

### 空き家情報バンクとは

市内に点在する現在使用されていない住宅等を売家・貸家として活用するため、所有者の了解を得て、空き家情報バンクに登録し、UJターンの希望者の住まいとして、定住支援ホームページから情報提供しています。

### 萩市内に空き家をお持ちの皆さんへ

現在、使用していない住宅(空き家)を萩市内にお持ちの皆さん、ぜひご連絡下さい。空き家

の調査を行った後、空き家情報バンクに登録し、インターネットで全国に発信します。

### 空き家情報バンクの登録物件(4月1日現在)

- 萩地域：賃貸3件、売買8件
- 田万川地域：賃貸1件、売買1件
- 旭地域：売買4件
- 福栄地域：売買1件

### 問い合わせ

【萩ふるさとターン応援団・定住総合相談窓口】

萩市企画課(担当：柴田、恩村)

○電話 08388-253819

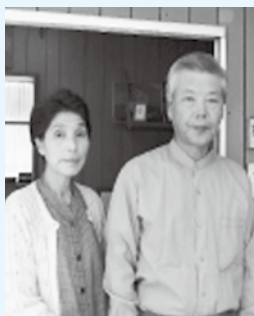
○Eメール

teijyu@city.hagi.yamaguchi.jp

○定住支援ホームページ

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/teijyu/>

## 萩市にUJターンされた皆さん①



番屋洋さんご夫妻

平成10年に千葉県からUターン。洋さんは、「萩ものしり博士」としての活動のほか、「萩城郭保存会」などのボランティア団体の一員として地域に貢献されています。



中原省吾さんご夫妻

昭和58年に千葉県からUターン。人力車を走らせ、ギャラリー&テイルーム「くるまじや 俣宿・天十平」を営まれています。

## 将来、萩市で働く看護師等の人材を確保 寄付を原資に新たな奨学金

萩市では、将来萩で働く医師・看護師・教師を目指す大学生に新たな奨学金を給付する事業を始めました。

これまで、萩市は平成6年に守永洋子氏、平成7年に石川幸子氏からそれぞれ1億円の寄付

円を給付してきました。

今回、守永・石川両氏の功績を顕彰し、「将来の萩を担う人材を育成する」という両氏の意向を踏まえ、名称を「守永洋子・石川幸子大学等奨学金」に改め、新たな奨学金制度を実施するこ

上在任)の医師・看護師・教師

を確保するために、医師を目指す学生には年額120万円(定員1人、3年ごと)に募集、看護師を目指す学生には年額30万円(定員3人、萩看護学校が対象)、教師を目指す学生には年

を受け、「守永洋子大学進学奨学金」として平成7年から大学進学者を対象に年額30万円の奨学金を給付しており、昨年までの12年間で延べ98人に294万

とになりました。  
新しい奨学金制度は、これまで実施してきた大学進学者を対象にした奨学金に加え、地元出身者（保護者が萩市内に5年以

額50万円（定員2人）が給付されます。  
■問い合わせ 萩市企画課  
(0838・25・3569)

# かつて萩は文化の中心だった！

## 萩藩御用絵師 雲谷等璠

萩藩御用絵師・雲谷等璠が描いた「花鳥図屏風」が、萩市土原在住の大島嘉勝さん（68歳）から萩博物館に寄贈され、現在、萩博物館で開催されている企画展「萩藩雲谷派の世界」展で、春景図は5月21日まで、秋景図は5月22日から6月26日まで展示されます。



◀図録「雲谷派の系譜」展の表紙を飾る

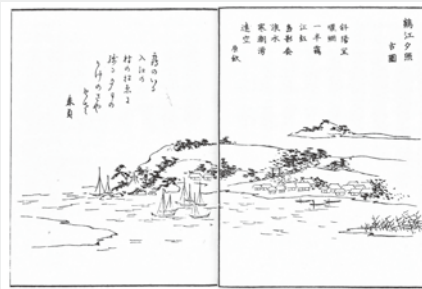


▲「多くの人に鑑賞してもらいたい」と話す大島嘉勝さん

雲谷派は萩藩毛利家の御用絵師で、系譜は雪舟の流れをくみ、江戸文化の一代流派を形成した、幕府御用絵師の狩野派と並び称されました。毛利家は、関ヶ原の合戦後、領地が防長2国に減り厳しい財政状況であったにも関わらず、文化振興に力を注いできました。雲谷派は萩藩が代々庇護してきたことから、その画系は狩野派の18家系に匹敵する11家系に及んでいます。  
等璠（1635～1724）は、雲谷宗家4代を継ぎ、3代萩藩主毛利吉就の命によって「萩八景」を描きました。花鳥図屏風は等璠の最高傑作といわれ、昭和61年に山口県立美術館で開催された「雲谷派の系譜」展の図録の表紙を飾っています。  
大島さんの祖父が購入し、これまで家宝として大切に保管されてきた花鳥図屏風は、傷もなく最高の保存状態で、一千万円以上の価値があるとみられています。

▽アドバイス 萩での生活をしっかりとイメージしてから移住してください。しっかりとした目的を持って自分で道を切り開いていくことが必要です。

▽アドバイス 萩での生活を何か月でも体験していただきたい。人や自然を含めた周辺の環境を手に入れるつもりで暮らしてほしいです。



▲等璠が描いた「鶴江の夕照」

## 萩八景

元禄年間（1688～1703）、3代藩主・毛利吉就が、山田原欽（学者）、安部春貞（歌人）、雲谷等璠の3人を召喚して、萩の景勝地を8か所選ぶように命じ、等璠に絵を描かせ、春貞に和歌を詠ませ、原欽には詩をつくらせました。「萩八景」は、萩の特色である城下町を取り巻く水辺の景色が楽しめるようになっています。

その八景とは、「倉江の帰帆」「玉江の秋月」「桜江の暮雪」「小松江の晚鐘」「上津江の晴風」「中津江の夜雨」「下津江の落雁」「鶴江の夕照」。

## 全国から寄せられる 萩市への寄附



▲記念植樹する野村萩市長と寄附者の皆さん

今回「花鳥図屏風」が萩市に寄贈されましたが、萩市には全国からさまざまな寄附が寄せられています。特に多いのが樹木で、昨年1年間で、厚東満氏（静岡県）や昭和33年越ヶ浜中学校卒業生から寄附されたカワヅザクラ150本をはじめ、シダレザクラやヒカンザクラ、アメリカハナミズキなどの寄附を受け、市内各所の緑化に役立てられています。  
萩市では、このような寄附者の温かい厚意を顕彰するため、「元気なふるさと創出寄附顕彰制度」を設け、寄附者の氏名等をプレートに明記しています。

独歩(明治39年)36歳



# 国木田独歩と

# 富永有隣



「富永有隣先生小伝」から



「富岡先生」明治35年(1902)

有隣の家に着く。

**富** 永有隣は藩校明倫館の秀才で、13歳で藩主に「大

学」を御前講義するほどで、仕官後は配膳役等に就くが言動粗

野で他と相容れずに孤立、32歳の時秋沖の見島へ、次いで相島

に流島になり、さらに野山獄に繋がれた。松陰が下田事件で入

牢したとき、有隣もまたそこにいた。有隣は松陰より9歳年長

で「儒者にして書家」と自称する自名家であったが松陰にだけ

は一目置いていたのか、獄中では「吉田殿」とよんでいたとい

う。松陰もまた有隣との出会いを「獄に入りて奇遇し奇士を得

たり、互いに青史を把りて廢興を論ず」と好意を持つ。松陰は

出獄後、有隣らの釈放運動に奔走して村塾の教師を迎えるのだ

が、松陰が安政の大獄で囚われ

ると何故か有隣は出奔、維新戦争では軍功を挙げるも兵制改革

に反発して暴動を首謀するなど「有隣の信念」は世に受け入れ

られず、結局再び長く牢に繋がれた。

独歩が有隣と面談したのは、明治17年に赦免されて田布施の

妹の嫁ぎ先に身を寄せ、塾を開いていた頃である。燃えるよう

な20歳の独歩にとって71歳の老とはいえ豊饒とした「元志士」

の迫力はひどく刺激的だったと見え、面談後すぐに国民新聞に

取材記を寄稿している。「主人(有隣)は年の頃70前

後とも見え、頭髮猶束ねられ、旧日本のかたみを留めたり

左眼は已に永遠の暗室に葬られながらも、独眼独り炯々として

なお今の時世をば猜忌の光もて見回せり。痘痕点々面に満ちて

幾多の悪戦にも、幾多の苦痛に

も、猶未だ消磨せられずに在り。

(略)

独歩「実際吉田は如何なる人物なりしか」(以下設問を省く)

有隣「今頃の書物は一つも当てにならん。ドダイ、ウソばかり

だからノー。寅次郎(松陰)の事でも無闇にホメて却ってあれ

の人物を落として居る事が多いノー、事物に磊落で頓着のない

様にいうがあれで至って綿密な男ダゾ。」(略)

「左様々々、弥二(品川内務大臣)は松陰に至って可愛がら

れて居たテヤ、ソノ筈、弥二は若くても利助(伊藤博文伯)ナ

ンカとは違って、骨が有ったからノー、あれでも今に大小ヤル

チュージャーないか、内務大臣になる時でも、ゼンキを張った

チュージャーないか、大分マダ松下塾のシコミが残って居るテ

ヤ、ジャガ、あれはアーいう質

だノー。利助の様にヌラヌラしないテヤ。」(略)

「ソレはナル程、吉田が言う様に、久坂と高杉は中々人物が

出来て居タイ、吉田は無闇に久坂がスキで。とうとう妹を玄瑞

に娶したがワシは高杉の方がすきであったノー、高杉は中々驕

慢な所はあったが玄瑞に比ぶれば、ズット丈が伸びていたノー、

ソレハ人物が余程、上であったノー、玄瑞は厳格で誠実ながら、

君側の目付役には至極よいが、其の以上はできんテヤ、しかし

高杉なら大隊長位なれる、一方の大將には使えるノー」(略)

**独** 歩は様々な作品を世に問

いながらも有隣との衝撃的な出会いは決して頭から離れることはなかったのだらう。彼

の短い人生の成熟期、35歳のとき満を持して富永有隣をモデル

明治24年(1891)8月の暑い日の昼下がりに、熊毛郡田布施のほこりっぽい里道を、土地の若者を案内役一人の青年が額の汗を拭いながら足早に歩いていく。遠望すれば一面緑の長閑な田園の一条の里道を二つが跳ねているように映る。意気込みをみながらこの青年は国木田独歩だ。独歩はこの年徳富蘇峰の知遇を得て吉田松陰を知り、好奇心と旺盛な知識欲から松陰に傾倒する。20歳の独歩にとって、ほんの30年ほど前の維新の激動とその精神的支柱となった松陰や門下生の生き様は、心揺さぶられる出来事で興奮を覚えるのだ。こうしたなか松陰と実際に接していた富永有隣のことを知ったわけで、「直に会って話を聞きたい」という気持ちが高まるばかりだ。ほこり道は程なく終わり、藁葺きの

に「富岡先生」を書く。独歩は富永有隣の偏屈で傲慢無礼なその態度は、幕末から明治の激動の時代を、無骨であるが故に結局「世に出ること」が出来ず鬱積した不満を周囲にまき散らしているのだと分析し、創作意欲をかき立てたのだ。この時代萩を含めそこかしこにみられた下級武士たちの、そのもどかしい心の機微をあたたかい眼差しで、しかし少し押しさえた筆致で描いている。

**作** 中人物は富永有隣をモデルにした富岡先生とその娘、村長、維新の元勳たち、そして教え子4人だ。4人の教え子のうち3人は法学士となり、残る一人は土地の小学校の校長になっている細川。独歩は有隣の内奥の二つの感情、「屈折した偏屈とそれを否定しようとする平常心」を会話形を多用した巧みな表現で展開さす。

まずは偏屈ぶり。  
教え子の大津が法学士になつて帰省した。  
「ヤア大津、帰つたか。」  
「兎も角法学士になりました。」  
「それがなんだ、エッ。」  
「内務省に出ること決まりました、江藤さんのお世話で。」  
「フンそうか、それで目出度いというのか。しかし江藤さんと

は全体誰の事じゃ。」  
「江藤侯のことです、直文さんのこと。」  
「ウーン三輔のことか、そうか、三輔なら三輔と早く言えばええに。時に三輔は達者かナ。」  
「相変わらず元気で御座います。」  
「フンそうか、それは結構じゃ、狂之助は？」

「ご丈夫のようで御座います。」  
「そうか、今度逢つたらワシがよく言つたといつとくれ。」  
「承知いたしました。」  
「ちつと手紙でもよこせと。エ、侯爵面して古い士族を忘れんなと言え。全体彼奴らに頭を下げべこべこと頼み回るなんちゅうことは富岡の塾の名汚しだぞ。ワシに言えばワシから彼奴らに一本手紙をつけてやるのに。彼奴らはワシの言うことなら聴かん理由にいかん。」先ずこんな調子。

江藤直文さんとは伊藤博文を狂之助は山県有朋の幼名狂介をもじつたものである。  
一倍の自尊心を持って余して偏屈だけを増幅させていた富岡先生も平常心では娘を高山法学士に嫁がせたいと素直に願ひ、意を決して娘を連れて上京するのだが、結局斡旋を依頼するとう要件を切り出さぬま

ま早々に引き上げてしまふのだ。村長が高山法学士にあてた手紙の形でこの間のいきさつを述べている。

「東京に行けば是非、江藤侯井下伯その他故郷の先輩の堂々たる有様を見聞せぬわけにはいかぬ、富岡先生に取つてはこれ即ち不平、頑固、偏屈の原因であるから、的にしていた貴方の振るまいすらも癩癩の種となり、遂に自分で立てた目的を自分でたたき壊して帰つてしまわれたものと拙者は信ずる。」

自分の短慮で計画が駄目になつたわけで、富岡先生は益々自暴自棄になり益々酒量を増して荒れる、気の毒で浅ましい有様となつたのである。

村長はさらに述べる。「こういふふうであるから無論富岡を訪ねる者は滅多になつた、只一人、ご存じの細川繁氏のみは殆ど毎晩のように訪ねて怒鳴られながらも慰めていたらしい。しかるに昨夕のこと富岡老人近頃病床にある由を聞いたから見舞いに出かけた、(中略)

段々話しているうちに「意外も意外、老人の方から梅子さんの事を言いだした。それはこうで、「娘は細川繁に配する積もりである、細川からも望まれている、私も初めは進まなかつたが考えてみると娘のため細川

のため至極良縁だと思ふ、どうか貴方その媒酌人になつてくれまいかとの言葉。」(略)「婚礼の日は老先生の言うがままに来る十月二十日と定めた。くじは遂に残り者に落ちた。」

**と** 富岡先生は十一月の末ついにこの世を辞して何国は名物男一人を失つた。

同国の者はこの黒粹の死亡広告を見て「先生到頭死んだか」とすぐ頷いたが、新聞を見る多数は、何人なればかくも大きな広告を出すのかと怪しむ者もあり、全く気のつかぬ者もあり。しかしこの広告が富岡先生がこの世にはなつた最後の一喝で不平満腹の先生がせめてもの遺悶(ごころやり)を知人によつて漏らされたのである。心ある同国人の二三はこれを見て泣いた。「押しさえた筆致が逆に読む人々に重い感動を与える。」

国木田独歩は維新を待たずして華々しく散つた松陰、晋作、玄瑞や維新後栄光を手にした伊藤、山県、井上などと同等にあるいはそれ以上に有隣の人「信念を持ちながらも取り残されどうしようもない歯がゆさに呻吟した人生」を通して「人間そのもの」の悲しさと得も言われぬ「いとおしさ」を感じ続けたのかも知れない。

独歩は「余が作品と事実」のなかで「余の描いた富岡先生の性格はこの有隣翁をモデルにしたのである。郷里出身の栄達者に対しての態度は、有隣翁の逸話を基にしたのである。けれどもこの翁に梅子なる娘あることなく、従つて一編に記述せる事件あることなし。余が目的はこの一種の人物を描くに在て、この人物を詩化するために、あれだけの事件が出来上がったのである。」とその舞台裏を述べているが、独歩は有隣ユニークで味わい深い人柄を作品の形で後世まで伝えたことになる。

**過** 日、田布施町に遊んだ。明治33年に80歳で没した富永有隣はこの穏やかな田園で持てる才能を持て余したまま不遇の生涯を終えたのだ。9歳で明倫館に入った神童有隣は臨済宗東福寺派正護持に眠っている。町郷土館では「富永有隣展」が開かれていた。

書家とも称した有隣直筆の書や塾で使つた論語や孟子の写書、直筆の水鳥の絵などを有隣の肖像画を眺めつつ鑑賞すると気持ちはそのまますのびた世界だ。林芙美夫館長のいう「明治の反骨の野人にふれてほしい」という言葉が重く感じられた。  
(高井 誠 エッセイスト  
日本ペンクラブ会員)



えもと りゅういち  
江本隆一氏  
(大阪府羽曳野市在住 82歳)

## 遠き萩の故郷を 離れて思う事

私は昭和18年3月、旧制萩中学を卒業して以来上級学校（旧制高校、旧制大学）に入学、卒業して社会人として勤務し、現在までの64年間萩を離れておりましたが、常時、故郷を思わざる日は無かったと思います。遠い故郷を眺める目には、萩の各分野で「田園まさに荒れなんとす」を感じるのには私だけではないと思います。かつて萩の人口は江戸時代最盛期には30万人もあつたと言われましたが、現在は5万人程度と、総ての活動が「死に体」になりつつあります。市外の萩出身者が萩の世情を憂える声をしばしば耳にする事があり、嘆かわしいと思います。何故、この様な状況が醸し出されるかと考えてみますと、活性化への話題が乏しい為だと思わ

う意味で、小中高向けには補修塾を、大学生一般向けには政経塾と、松下村塾の現代版(第二松下村塾)を検討してみても如何でしょうか。

### 観光

美術館・博物館が逐次設立された事は誠に喜ばしい限りと思いますが、博物館の中に鉄道の父「井上勝」を偲んだ常設展示があればと思います。萩八景遊覧船が既に就航されておりますが、松本川と橋本川の分岐地点に運河を造り、三角州を一周できるルートが出来れば、萩の魅力が一層引き立つと考えます。また乗船場に歴代首相の胸像を設置し、「わかめむすび」や「ちしゃなます」など萩名物の軽食や名産品が置かれるとさらに観光客に喜ばれると思います。特産土産品についても従前の萩焼や夏みかん菓子に加えて、積極的な新製品開発が必要だと思います。

### 教育

現在の学校教育の問題点は校内暴力・いじめ・学力低下等が言われておりますが、教育の基本的原点の欠落部分を考慮せず、徒に派生的問題に囚われ過ぎていると思います。その要因の一つに「愛の欠落がある」と思います。私自身も旧制中学生の時に「十氣七則」「和歌」等の松陰先生の教育を受けた事があります。現代の教育に欠落した「高い徳性」と「高い志」の養成を補

港)も、観光振興や産業振興の観点から検討に値すると思えます。最近ブームになつてきた大型客船によるクルーズに対応するための港湾の整備も検討されるべきでしょう。

### 住居

他府県では人口減防止の為に積極的に移住促進をしている処もあります。この移住環境は地方行政が積極的に改善しております。定年後の人は条件が良ければ来るでしょうし、定年前の人であれば地域産業に興味ある人、又は新規企業を設立しなれば無理と考えられます。生活するために生活費が問題になります。一例として上げると、萩は他府県の比べて合併浄化槽の管理費が非常に高く、このあたりも改善が必要だと考えます。また、旧市内にある風俗営業店の出店規制なども考えていかなければならない課題です。

### 企業

環境を損なわない企業であれば、大いに招致すべきです。その際に問題になるのは地方自治体の補助金や低利融資制度の充実度です。話題になった三重県亀山市へのシャープ液晶工場の誘致には、125億円の補助金が提供されています。優良な企業を誘致するために、行政サイドがどのような協力体制をとる

のか、これが非常に重要なポイントです。

### 資金

以上の問題を解決する為には必ず資金が必要となります。萩市の財政では中々困難でありますので、P・F・I、金券、寄付金、交付金等が考えられます。PFIについては民間の個人資産合計は約1540兆円あるといわれ、英国のようにこれを積極活用しない手はないと思います。また地域通貨やエコマネーなど特殊金券も活用すべきです。寄付金については、萩市活性化のために、透明性の高い納得できる集金方法をとれば、もっと促進されると思います。安倍政権が推進する「頑張る地方支援」で計上される各府庁の交付金にも積極的にエントリーしていくべきです。

### プロフィール

1926年(大正15年)2月満州奉天生まれ。昭和7年に萩に移住、椿西小・旧制萩中学・旧制山口高校を経て、京都大学工学部卒業。昭和23年、井上勝が創設者である自動車会社に入社、その後、日本化薬(株)に勤務し、現在は田中紙管(株)の取締役相談役。趣味は囲碁(五段)・ゴルフ・旅行。好きな言葉は孫子の兵法にある「圍師必闕 窮寇勿追」(包圍戦でも、必ず、敵に退路を空けておくべき)

# 萩の地魚提供店、 29店舗でスタート!



萩漁港に水揚げされる年間約150種の魚介類。萩ブランド4魚種をはじめ、四季折々の旬の地魚を、美味しく、そしてお手軽に味わっていたきたい。萩の魚ブランド化推進協議会は、この4月より萩市内の旅館・料理店29店舗を「萩の地魚料理提供店」として登録。一年を通じて旬の地魚を使った各種料理を提供する体制が整いました。同時

に、萩の水産物に関心のある方向けに、最新の旬情報をお届けする「萩魚クラブ」(入会金・会費無料)の会員を募集しています。専用のリーフレットも用意しています。

また推進協議会のホームページでは、旬の地魚が味わえる宿(旅館・ホテル)9件、同じく店(料理店・寿司屋・居酒屋)20件を、おすすめ料理やお店の紹介などを交えて

掲載しています。さらに、今萩で穫れる旬のお魚情報コーナーを毎週更新しています。このホームページを見てお店へ出かければ、萩の旬の地魚をより一層楽しめます。

■お問い合わせ 萩の魚ブランド化推進協議会事務局0838・25・2330 (萩市水産課)  
http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/taberu/hagi\_sakana/index.html

## 京伏見菓匠 和晃 わこう 萩の夏みかんを全国へ



△井町充宏社長(左)と土地所有者の徳久照子さん

萩出身の井町正さん(萩高4期卒)が創業した、京都伏見区の京菓子製造販売会社「和晃」。

3月31日、和晃(代表取締役社長 井町充宏)の皆さんが萩を訪れ、平安古にある自社の夏みかん農園で夏みかんの収穫作業を行いました。

萩での収穫作業は、農園を作った約6年前から毎年行っているもので、今年は約4tの収穫。

夏みかんの成分について研

究を依頼されている山口大学農学部(院生)も応援に駆けつけ、「実は、夏みかんの皮には、発ガン作用を抑制する物質が含まれているんです。学会で発表する準備も出来ました」とのこと。

「体に良いことをPRして、夏みかんの健康ブームを巻き起こしたい。そして萩の夏みかんで、新たな商品開発に繋げていけると良いですね」と井町社長の夢はふくらみます。

## 阿武町

### 福賀に、加工所と直売所オープン

新鮮な農林産物・手づくり工芸品が並び、地域の交流や情報発信の拠点に

阿武町福賀地区にある、農産物直売所と「農事組合法人福の里」の加工所。昨秋に施設が竣工して以来、「福の里」女性部が中心となって加工品の試作やテスト販売を続けてきましたが、4月28日に本格オープンしました。国道315号と県道10号が交差する三叉路で、道路を走ると遠くからも見渡せる絶好の立地。直売所には町内で収穫された新鮮な農林産物・手づくり工芸品をはじめ、「福の里」が栽培したもち米を100%使った女性部手づくりの杓つきもちが並びます。今後おこわやお総菜も加工していく予定です。

この直売所は、地域の交流や情報発信の拠点としても、大きな期待を集めています。連絡先《農事組合法人福の里》(08388・5・0707)  
■営業日 毎週土・日・祝日の午前8時〜午後3時頃



▲女性部手作りのかき餅



4月15日  
**大阪指月会**  
大阪弥生会館（大阪市北区）

65人出席、中山光夫会  
長が「62回目の総会で  
す、大阪は役員13人の手  
づくりの総会で、案内状  
を650通出して1割の  
出席でした」とあいさつ。  
4月に着任されたばかり  
の吉村高男校長が、母  
校の近況報告。23期堺市  
在住の大賀清志さん（55歳、写真  
左）はソーシャル・ネットワーキン  
グサービス「mixmixiv」の  
スレット「萩市」の管理人で、約  
450人が萩市に登録しているそう  
です。会長・事務局は中山光夫さん  
（06.6458.6008）



**同窓会だより**

★事務局からのお知らせ

クラス会、同窓会、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。  
萩ネットワーク事務局まで、お送りください。  
また事前にご連絡いただければ、資料をお送りします。

**森田栄介さん(玉江浦)**

**なんでも鑑定団に出演**

人気番組「開運 なんでも鑑  
定団」（テレビ東京3月27日放  
映）出演のため、森田栄介ご夫  
妻（玉江浦）がお宝（桂小五郎  
前原一誠、久坂玄瑞らの手紙）  
を携えて上京しました。  
応援のため東京在住の有志12  
人が東京天王洲スタジオに参集  
氣勢を上げました。鑑定の結果、  
本人評価額200万円を大幅に  
上回る高い評価で一同大喜びで  
したが、応援団の様子は放映さ  
れず、・・・残念でした。



森田さん夫婦(スタジオにて)

驚きの鑑定結果・・・500万円  
全て本物。特に木戸孝允になった後の手  
紙は多いが、桂小五郎時代の書は少なく貴  
重。桂小五郎の手紙は280万円。  
※山口県内では、4月14日にKRY山口放  
送で再放送。

東京須佐会（会長 清地治正さ  
ん）の花見、4月7日新宿御苑  
にて。満開の長州緋桜の下で、  
楽しいひとときを過ごしました。



**学校だより**

**グラウンドで、  
初の萩商工校歌を**

萩商業高校グラウンドで、野  
球部員の元気良い掛け声が響き  
渡っています。萩商業の3年生  
11人、萩工業の3年生12人、萩  
商工の2年生18人、そして4月  
に入部した新1年生23人、計64  
人の合同チームです。



昨年4月に萩商業と萩工業が  
統合されて萩商工が開校。萩商  
業も萩工業も高校としてまだ存  
在しますが、統合をきっかけに、  
野球部は昨秋から一つのチーム  
になりました。  
合同チームで人数が増えたこ  
とで、練習メニューの幅が広が  
り、さらにポジション争いが激  
化。「競争意識が芽生え、結果

的にチームの戦力があがってき  
た」と田村雄太主将。  
7月14日から始まる夏の甲子  
園山口県大会では、勝利チーム  
は校歌を歌えます。「一つ勝っ  
て、萩商工として初の校歌を歌  
いたい。そしてベスト8へ」と  
阿波薫監督。夏に向けて夜9時  
頃まで熱い練習は続きます。

**新入生 449人！  
今春の高校入学者数**

学校名 (クラス数)	合計	
	男	女
【萩高等学校】5クラス (普通科4、理数科1)	179人	
	男90人	女89人
【萩商工高等学校】5ク ラス (総合ビジネス科1、 国際情報科1、機械科1、 電気科1、建設工学科1)	180人	
	男115人	女65人
【萩光塩学院高等学校】 2クラス (普通科2)	39人	
	男12人	女27人
【奈古高等学校】2クラス (生物資源科学科1、生活 総合科学科1)	51人	
	男22人	女29人



会員からのお便り

# めーるぼっくす

○田坂陽治(香川県高松市)

「第74号」拝見しました。須佐育英小学校の新校舎が完成したのですね。新制中学が発足した際、育英小の講堂内を四つに仕切って授業を受けたのをなつかしく思い出します。ステージの場所が教員室でした。

4月15日須佐中の同期会が開催されます。墓参りを兼ねて帰省する予定です。

○小川和子(北海道標津町)

3月中旬(13日)になっても、最低気温はマイナス11℃、最高気温はマイナス1℃。

そんな中で楽しみは家の中でできることが中心となり、とうとう趣味が増えて毎月追われる程になってしまいました。特に毎月試験を受ける書道や、提出する俳句・墨絵、そして毎週のコーラスの練習というように、毎日家事をしながら、時には忘れてしまう程の忙しさです。

雪と氷しか見えないので5月に草が見えるのが楽しみです。

○林賢治(埼玉県川越市)

先日74号で紹介されていた内村幹雄の個展を見に行ったところ、同期の女性が来ており内村と3人で話し込みました。毎年同期の内村、三輪和彦が東京で個展を開いてくれるので同期で会う機会が増え、喜んでいきます。

「長州ファイブ 東京ゆかりの地を巡る」も、とても役立っています。長州人を身近に感じることができ、歴史を越えて親しむことができます。何か所か訪れていますが、ぜひ全コースを訪ねてみたいと思っています。

○阿武功(東京都羽村市)

昨年11月に下関で萩商の商科29年卒の同期会があり、久しぶりに参加しました。当然全員71歳で男性17人、女性16人、計33人の参加でしたが皆元気でした。萩商が萩商工になりましたが、私たちは萩商工時代の卒業なので、またもとに戻ったのかという感覚です。

3月1〜2日と羽村市の老人会連合会の旅行があり(約190人、バス5台)会津の芦ノ牧温泉に1泊、翌日鶴ヶ城に行きましたが、萩を思い出しました。これからも元氣なうちに旅行したいと思っています。

○田村清介(神奈川県相模原市)

東京と同じく当地も全く雪の降らない冬が終わり、梅の花も盛りを過ぎようとしています。脳梗塞を患った私としては大いに助かっていますが、レジ袋削減に協力して地球温暖化防止に努めています。ちなみに京都環境サミットで京都議定書が採択されたとき、小生過々京都に住んでいて何か身に沁みて温暖化を実感しています。

○福田昭(福岡県大野城市)

旧制萩中学校45回卒業生(80歳)73号の『萩の独楽廻し』と『永松定』を読み、中学5年の学級担任の永松先生と知り、びっくりしました。先生が東京で作家活動をされていたこと、「萩の独楽廻し」を書かれたことも全く知りませんでした。私にとつて永松先生は忘れることのない出来事です。

昭和19年、私は9月から東京の陸軍経理学校に入学することが決まっていました。当時、私の家族は朝鮮(現韓国)に住んでおり、入校するまえに会いたいと思い、永松先生を通じて休暇をお願いしましたが、戦況緊迫の非常時に長い休暇は許可出来ないとのことでした。(中略)

先生のお蔭で念願の帰省が叶い、3日間の滞在でしたが、再び会うことが出来ないかもしれない家族・友人知人達との別れも出来、指定の9月28日に無事入校することが出来たのです。

一生徒の願いを困難な状況の中、叶えて下さった永松先生のごことは、63年経った今でも鮮明に覚えており、心より感謝し尊敬しております。

在りし日の先生を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 新規加入会員ご紹介

(2月27日〜4月25日)

加入者49人

- 伊敷美佐子さん(兵庫県神戸市)
- 三浦穂子さん(奈良県大和郡)
- 音吉直樹さん(東京都練馬区)
- 有田直さん(萩市)
- 川西公子さん(山口県下関市)
- 桂木一代さん(島根県出雲市)
- 村上民子さん(山口県山口市)
- 柴田延子さん(萩市)
- 土井文子さん(萩市)
- 野稲阪江さん(山口県長門市)
- 高田公子さん(萩市)
- 野稲登美子さん(萩市)
- 中村紀美子さん(山口県山口市)
- 須郷豊さん(山口県防府市)
- 岡村公江さん(山口県山口市)
- 田中信子さん(島根県益田市)
- 品川孟司さん(山口県周南市)
- 宮田直熊さん(萩市)
- 西端順子さん(大阪府富田林市)
- 武末京子さん(熊本県人吉市)
- 益成富夫さん(愛知県一宮市)
- 村上博臣さん(山口県山口市)
- 市原英男さん(山口県周南市)
- 浦和子さん(滋賀県守山市)
- 河野重智さん(山口県山口市)
- 玉村松月さん(萩市)
- 足立夏世さん(兵庫県神戸市)
- 水津和之さん(萩市)
- 船崎透さん(萩市)
- 三上敦敏さん(埼玉県南埼玉郡)
- 伊勢島勲さん(埼玉県戸田市)
- 本永勝彦さん(兵庫県たつの市)
- 金子圭介さん(神奈川県逗子市)
- 富田喜代士さん(千葉県千葉市)
- 藤田恒代さん(山口県阿武郡)
- 阿武紹久さん(静岡県浜松市)
- 永田善次さん(兵庫県神戸市)
- 平井美和さん(山口県下関市)
- 田村勲さん(島根県松江市)
- 井町泰國さん(大阪府大阪市)
- 田中由美子さん(大阪府枚方市)
- 室谷賢治さん(兵庫県尼崎市)
- 桂道夫さん(大阪府富田林市)
- 中村宣孝さん(大阪府大阪市)
- 長谷川利雄さん(兵庫県川西市)
- 土井二天さん(東京都練馬区)
- 田中幸生さん(山口県山口市)
- 中野博文さん(萩市)
- 島田公子さん(山口県山口市)



## 追悼

昭和36年に永田産婦人科(下五間町)を開業し、萩市医師会長や萩市体育協会会長等を務めるなど多方面で活躍された永田秀一氏が、3月8日、心不全のため亡くなりました。享年78歳。

## 永田 秀一 先生



ダンディな紳士。その言葉がピッタリと当てはまる永田先生は、鹿児島県で生まれ育った九州男児。

熊本大学医学部を卒業後、昭和34年に玉木病院産婦人科医長として萩に赴任し、昭和36年に永田産婦人科を開業。以来、40年以上にわたって多くの新しい生命の誕生に立ち会ってきました。この間、萩市医師会長を務めるなど、萩市の医療の推進にも大きく貢献されてきました。また、萩市体育協会会長をはじめ、青年会議所、ロータリークラブ等でも理事長や会長を務めるなど、多方面にわたって大きく貢献。平成15年にはこれらの功績が認められ、旭日双光章を受章。萩市医師会の売豆紀雅雅昭会長は「旺盛な責任感と指導力、実行力は、私たちを常に正しい

方向へ導いてくださいました」と弔辞で述べられました。

多くの人から信頼されていた先生は、常にビシッとスーツ姿できめていましたが、家では下着姿で歩き回っていたという意外な一面も。自宅が飲み屋街の近くということもあり、「昔は誘いの電話があれば毎晩のように飲みに出かけていました」と長女の喜久子さん。

「お酒も好きでしたけれど、人と話すのがとにかく好きでした。仕事以外にもいろいろな人と交流して、萩に溶け込みたかったのです」と喜久子さんは振り返ります。先生のこれまでの活躍は、ダンディな姿とともに多くの人の心に刻まれていることでしょう。

永田先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

(萩市医師会会報第408号を参照)

## 新たなスタート!

## 山口福祉文化大学で入学式

### 1期生は24人

4月10日、萩国際大学から改称した山口福祉文化大学の第1回入学式が行われ、今年度から開設された社会福祉系のライフデザイン学部(定員140人)に24人が入学しました。

新入生の内訳は、県内8人(うち萩市内5人)、県外16人。新設された学費や寮費などを免除する児童養護施設出身者の入学枠には2人が入学。また、「ゴルフ文化コース」の募集はなくなりましたが、3人がゴルフ部入部を希望しているということです。

式で新入生総代の宣誓をした阿南佳奈さん(大分県出身)は、「地元が高齢者が多いので、社会福祉士になって役に立ちたい。ほかにもいろいろな資格メニューがあり、自分に適した大学だと思って選んだ」と話していました。

また、同大学の支援企業である株式会社塩見ホールディングスが、総工費12億円をかけて建設を進めていた学生寮(地下1階・地上9階、ワンルーム146室)が完成し、新入生15人が寮に入りました。

## 高杉晋作 没後140年

4月14日、高杉晋作墓前(椿東・椎原)で、墓前祭が行われ、明治維新を見ることなく病で逝った晋作に、参加者約70人が思いをはせました。

慶応3年(1867)4月14日、下関で27年8か月という短い生涯を閉じた、高杉晋作。

晋作が時代の表舞台にいた期間は10年余り。しかも実際に奇兵隊や長州軍を率いて、「動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し」と称された姿で活躍した

のは、5年にも満たない短いものでしかありません。

幕末の風雲児は、明治という新たな時代をみることなくこの世を去りますが、その僅かな生涯の中で様々な姿を私たちに残しました。



△墓前の献花式



△大学敷地内に建てられた学生寮

# 萩のメルキオール

くまがいもとなお

## 熊谷元直が「福者」に

### 江戸期の殉教者188人



△熊谷元直殉教碑  
堀内の萩キリシタン殉教者記念公園に建つ。宣教師ビリオンによって建てられた。そばに幕末のキリシタンの墓もある。

ローマ法王庁（ベネディクト16世）が、江戸時代初期、キリスト教徒の迫害で処刑された日本人殉教者188人を、榮譽ある「福者」に列することになりました。福者は、カトリック教会において、死後その徳と聖性を認められた信徒に与えられる称号で、福者は聖人に次ぐ尊崇の対象です。

188人の中には、毛利輝元の家臣であった熊谷元直や、天正遣欧使節の1人として法王グレゴリオ13世に謁見した中浦ジュリアンも含まれています。1981年の前法王ヨハネ・パウロ2世の長崎訪問を機に日本カトリック司教協議会が調査を開始したもので、実現までに四半世紀かかりました。列福式は11月長崎で行われる予定。

熊谷元直 毛利氏の武断派重臣として活躍したが、萩城築造の遅れを理由に、1605年処刑される。いわゆる五郎太石事件で、熊谷氏がキリシタン信者であったため、この事件を口実に誅伐されたといわれる。1622年の幕府のキリシタン禁止令が出る前の出来事。

## 萩光塩 マドレ・マルガリタ



マドレ・マルガリタ  
萩光塩学院の創設者  
関係者も訪れ、列福を祝いました。

萩光塩学院の創設者であり、また光塩の母体メルセス宣教修道女会の初代総長でもあるマドレ・マルガリタも2005年11月に福者に列せられています。06年10月、マドレの出身地スペインのビルバオ市において、盛大な列福式が行われ、光塩関係者も訪れ、列福を祝いました。

## 紫福隠れキリシタンの里



地名の由来ともいわれる「キリシタン祈念地」  
至福の里

萩市福栄地域の紫福しぶきには、隠れキリシタンの遺物があります。

毛利氏の時代、迫害された信徒たちは紫福の山中に移り住み、至福のときを待ちながらひっそりと生活しました。紫福の地名は、至福がなまって「シブキ」になったという説もあります。

紫福には「キリシタン祈念地至福の里」や、弾圧を逃れるため目立たない方法で信仰した宍形の目墓、宣教師の墓、十字を象つた家紋が伝わっています。

限定発売!

## 萩たまげなす&萩焼 萩西瓜相島プレミアム翠茜&萩ガラス

### 萩たまげなす「地割り」

近年大人気の「萩たまげなす」。「地割り」とは1番成りの萩たまげなすが、地面まで届いた後もさらに成長し、その結果、なすが地面を押し割ることからきています。その1番成りで色

形質に優れた600g以上の「萩たまげなす」と萩焼の萩たまげなす皿をセットにして（木箱入）お届けします。

▼セット 萩たまげなす「地割り」2本、萩たまげなす皿「萩の蒼プレート」（萩陶苑社製の長さ32cm、幅18cm）

▼限定300セット

▼価格 約1万5千円（送料別）

### 「萩西瓜相島プレミアム翠茜」

すいかの名産地、相島。「一株一果どり」で、甘くておいしいすいかを精魂込めて育てています。5月下旬に出荷される初物は、花が咲いてから出荷するまでの期間が長く、特に甘みがついていきます。厳選した大型すいか「萩西瓜相島プレミアム翠茜」と、特製西瓜皿（ガラス原料に相島の岩石を特別使用）をセットにしてお届けします。

▼セット 萩西瓜相島プレミアム翠茜1個（4L、9〜10kg、萩西瓜皿（萩ガラス工房社製縦・横26cm）

▼限定200セット

▼価格 2万円（送料別）



器とセットでお届けします

■予約受付開始 5月7日(月)

■発送開始 5月25日

※受注販売です。発送準備が整い次第ご連絡し、代金の入金確認後、発送します。

※発送日指定は出来ません。申し込み

J A あぶらんど萩  
萩阿西管農指導センター  
(08338・26・8505)



美術教員  
**吉村 孝** さん  
(萩市紫福在住 55歳)

**フィールドフォーク(生活歌)に想いを託して**

本業は美術教員。生まれは周防大島です。地元の小中を経て柳井高校、大学は東京の多摩美術大学で油絵を学びました。多摩卒業後は4年間、今でいうフリーター暮らし、昭和55年に山口県立岩国養護学校に美術担当教員として着任、平成元年に今の萩養護学校に異動、今年でもう19年目となります。いろいろな面で改善されてはきましたが、今の日本はまだまだ健康常者

中心の世の中、ハンディキャップを持つ子供達にとって、まだまだ改善されなければならぬ事が多いと考えています。最終的には、障害のあるなしに関わらず、同じように生きていける社会が来ることを心から望み、そのために、障害を持つ子供達とそのご家族と一緒に力を合わせて、自分自身も微力ながら努力をしているつもりです。

**フォークシンガー笠木透との出会い**

確か昭和60年だったと思いま

す。フォークシンガー笠木透のフォークコンサートが岩国市民館で開催され、その企画運営に参加しました。この時、笠木透と出合ったことが、自分がフォークソングの世界にのめり込みました。本物のフォークソングとはまさに「生活歌」、商業ベースに乗ったフォークソングとは一線を画すものです。まさに生活そのままが歌詞になり、それがメロディに乗る。決して浮ついた世界ではなく、例えば農業をテーマにした歌を歌うのであれば、実際に畑仕事を体験してみる。海の歌を作るのであれば、海の厳しさや漁業の過酷さを身を持って体験してみる。実際の生活経験・生活実感から産まれる歌こそ、本物のフォークソングなのです。笠木透との出会いがきっかけになり、同じ志の仲間と岩国でフォークグループを結成、萩に転居後3年目に今活動中の「北浦四人衆」を作りました。定期コンサートを含め年間4〜5回のコンサート活動を、ここ10年以上同じメンバーで続けてきています。並行して、FM萩でも開局当時から続く最長寿番組「モアイの気楽に行こう」のディスクジョッキーを担当しています。教え子たちと出会うと「いつも聞いて

いますよ」と嬉しい言葉、時にはゲストで彼らをスタジオに招いた事もありました。

**子供の頃の生活に帰りたい**

大島の海辺で少年期をすごしましたので、自然にはとても親しみがあります。近所の友達と一緒に浜辺に捨てられていた小型の瀬戸貝を焼いて食べたりしたことが、今も懐かしく思い出されます。その頃、ズボンのポケットにはいつも「肥後守」(小型の折り畳み式ナイフ)が入っていて、木を削ったりして、道具を作ったり、工作して遊んでいました。危険ということ、今の子供達は刃物を持つことを半ば禁じられていますが、刃物で手を切つて初めて旨く使えるようになるし、その危険なこと

も実感として学ぶものだと思います。(談)

ます。なにもかも、便利になったこの世の中、でもその便利さの裏側で失ってしまったものがとつても多いと思います。あと5年で自分も現役引退、リタイヤ後は、あの懐かしい自分の子供時代の生活に帰りたいと考え、今から少しずつ準備を始めています。台所には竈を据え、暖房は薪ストーブや火鉢、そして豆炭コタツと練炭火鉢、極端に言えば、電気がなくなっても暮らしていけるような環境を実現したいと思っています。そして、パソコン・自販機・コンビニ・キャッシュレス・・・と、必要以上に便利になり過ぎた世の中を横目に観ながら、自然の流れに逆らわず、のんびり、ゆつくり時間を消費するということ、贅沢なスローライフを実現したいと思っています。(談)



**プロフィール**

1951年(昭和26年)8月大島町生まれ。萩市紫福在住。三浦小→蒲野中→柳井高校→多摩美術大学(絵画科:油彩)昭和55年 山口県立岩国養護学校に勤務、平成元年に山口県立萩養護学校に着任、現在に至る。FM萩で平成9年4月からDJを務める。好きな言葉は「足らざるを常と思えば不足なし」。趣味はフィールドフォーク・ハンドクラフト・畑作り・スポーツ全般。

萩市の陶芸家 三輪和彦さん

日本陶磁協会賞を受賞



三輪和彦さん

圧倒的なスケール「黒の遺構」

の開館記念特別展に出品された「黒の遺構」によるところが大きく、協会は「巨大なインスタレーションは、しばらく忘れていた焼き物のスケール感を改めて実感させるもの」と高評価。

ジャーナリストや研究者などの専門家が、その年の最も優秀な陶芸家を顕彰する「日本陶磁協会賞」の2006年度受賞者に、萩市椿東の陶芸家・三輪和彦さん（55歳）が選ばれました。

受賞の理由は、昨年の6月から8月にかけて、兵庫陶芸美術館

「黒の遺構」は、20tもの土を使用した45cm角、高さ2mの角柱25本に白・黒・金の釉薬をかけ、ギリシャ神殿風に柱が林立した力強い空間を表現した作品。

同賞は、萩市内では1984年度に故・吉賀大眉さんがベテラン作家に与えられる金賞を、



「黒の遺構」2006年

88年度に和彦さんの実兄の第12代三輪休雪（龍作）さんが協会賞を、2003年度には父で人間国宝の三輪壽雪さんが協会賞制定50年記念賞を受賞。

受賞記念展は、7月28日（土）から8月1日（水）まで東京銀座の和光ホールで開催されます。

浦上記念館の初代館長 勇退

ありがとう 足立明男さん



平成8年10月の山口県立萩美術館・浦上記念館の開館以来、初代館長として萩の文化・芸術振興に尽力された足立明男さん

（73歳）が3月末に館長職を勇退。野村萩市長や萩焼作家、事業家など約100人が出席し、これ

までの労をねぎらう「足立明男さんに感謝する会」が、4月13日に萩市の千春茶味茶亭で開かれました。

足立さんは、16年間の教職を経て、山口県立美術館（山口市）副館長を定年退職後、それまで

の文化教育活動の実績を買われ、平成6年から県立萩美術館・浦上記念館の開館準備に携わられました。浦上記念館では、11年間館長を務め、熱心でユニークな解説で来館者に親しまれていました。

「萩から世界に向けてズキンとするような芸術文化が生まれることを楽しみにしています」と、足立さん。4月からは、山口情報芸術センター（山口市）の館長に就任されました。

新館長は、前副館長の上田秀夫さん。

萩博物館だより

(0838・25・6447)

萩藩雲谷派の世界

―雪舟を受け継いだ絵師たち―

6月26日まで



雲谷等隆 鯉図

雪舟の画法を受け継ぎながら、萩藩内はもとより京都の古刹などにも数々の秀作を残し、江戸中央画壇の狩野派と並び称されるほどの一大流派を築いた萩藩毛利家の御用絵師・雲谷派。館

山口県立萩美術館・

浦上記念館だより

(0838・24・2400)

景德鎮千年展

皇帝の器から毛沢東の食器まで

6月17日まで

世界的な磁器の生産地として知られる中国の景德鎮。開窯から千年にわたるやきものづくりの流れを、白磁、青花、五彩ほか、今なお最高の評価を受けている歴代官窯の華麗な磁器、文化大革命末期に作られた現代の官窯



五彩龍鳳文蒜頭壺

蔵の歴代優品を中心に、雲谷派の多彩な美の世界を紹介します。

君と竜宮城へ

―知られざる深海への旅―

7月7日～9月2日

未知の領域「深海」には一体どんな生命が息づいているのか、その謎を竜宮城探検のストーリーに沿って、テーマパーク風な展示方法で解き明かしていきます。

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 なし  
入館料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

ともいうべき日本初公開の毛沢東の食器磁器など、約1300点で迎えます。  
観覧料 一般1000円、学生800円  
生誕120年 富本憲吉展

6月30日～8月19日

近代陶芸の巨匠・富本憲吉（1886～1963）の代表作をはじめ、留学先でのスケッチや絵手紙、自彫自摺の木版画など未公開資料を含めた約200点で富本芸術の真髄に迫ります。

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 月曜日（祝日・休日の場合は翌平日）

# 情報アラカルト

## 関東地区

■萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界(巡回展)

萩焼の重要無形文化財保持者(人間国宝)で、96歳の今なお現役の陶芸家・三輪壽雪。その80年におよぶ作陶生活の集大成として、茶碗や花入、置物など約180点が展示されます。

4月21日(土)～6月24日(日)  
茨城県笠間市笠間  
茨城県陶芸美術館  
(0246・70・0011)

■日本画2007「新興展」

萩出身の日本画家 内田青虹(せいこう)の作品が展示されます。

5月22日(火)～30日(水)  
東京都台東区上野公園内  
東京都美術館  
(03・3823・6921)

6月26日(火)～7月1日(日)  
京都市左京区岡崎公園内  
京都市美術館  
(075・771・4107)

■日本工芸会正会員陶芸展

陶芸家 岡田裕、野坂康起、波多野善蔵、波多野英生、納富晋の作品が展示されます。

5月29日(火)～6月3日(日)  
東京都中央区 日本橋三越本店  
(03・3241・3311)

■小田光治 作陶展

6月8日(金)～18日(月)  
千葉市中央区中央3・4・10  
陶芸ギャラリー呂久呂  
(043・224・5251)

■水津和之 陶展「萩」

6月10日(日)～16日(土)  
東京都中央区銀座1・8・7新銀座ビル1階  
ギャラリーポート  
(03・3535・5559)

■萩光塩学院同窓会関東支部

関東地区の光塩学院同窓会。  
6月10日(日)正午～  
東京都中野区中野  
中野サンプラザ15F  
(03・3388・1151)

## 東海地区

■東海指月会

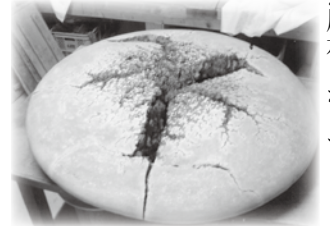
東海地区の萩高同窓会。  
7月8日(日)正午～  
愛知県名古屋市中村区  
名古屋マリオートアソシアホテル51F  
(052・584・1111)

## 関西地区

■第19回日本陶芸展

陶芸家 金子信彦が優秀作品賞の文部科学大臣賞を受賞した公募展の入賞・入選作、招待作

品が展示されます。



金子信彦受賞作「地震」

5月16日(水)～21日(月)  
大阪府中央区 大丸ミュージアム・心斎橋  
(06・6271・1231)

■関西山峡(やまなみ)会

旧旭村・川上村の同郷会。  
6月17日(日) 午前11時～  
大阪府中央区道頓堀2・3・28  
中国新名菜「敦煌」  
(06・6211・7796)

■からたち会関西支部

関西地区の萩工業高同窓会。  
6月9日(土) 午後6時30分～  
大阪府北区兎我野町 民芸茶屋  
豆狸(06・6311・1415)

## 中国地区

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。  
7月7日(土)午後6時～  
広島市南区  
ホテルグランヴィア広島  
(082・262・1111)

■おいでませ山口館「開館4周年フェア」

萩の夏みかんや見蘭牛の一夜

干しなどの販売を中心に、山口県のPRイベントが行われます。  
5月24日(木)～29日(火)  
広島市中区 おいでませ山口館  
(082・504・7001)

■内村幹雄 作陶展

5月29日(火)～6月4日(月)  
福山市元町 天満屋福山店  
(084・927・2111)

■吉賀将夫 作陶展

6月6日(水)～13日(水)  
松江市朝日町 松江一畑百貨店  
(0852・55・2500)

## 九州地区

■藤崎恒頼 個展(油彩)

7月19日(木)～31日(火)  
福岡県北九州市小倉北区  
リパーウォーク北九州  
(093・573・1500)

8月8日(水)～14日(火)

福岡県北九州市八幡西区  
井筒屋小倉店  
(093・643・5111)

## 山口県関係

■たちばな会山口支部

山口地区の萩商業高同窓会。  
5月25日(金)午後6時30分～  
山口市湯田温泉 ホテルかめ福  
(083・922・7000)

■躍動会展

藤崎恒頼をはじめ、萩、長門、宇部で活動する画家30人の作品が展示されます。

## 韓国・慶尚南道

2007

## 茶碗招待展

山口県と姉妹提携を結んでいる慶尚南道で、陶芸家 野坂康起、岡田裕、波多野善蔵ほか16人の作品が展示されます。  
5月11日(金)～20日(日)  
韓国 慶尚南道金海市  
金海文化の展覧展示室  
問い合わせ 萩市商工課  
(0838・25・3638)

5月10日(木)～13日(日)  
宇部市 宇部市文化会館  
(0836・31・7373)

■日本工芸会山口支部設立50周年 第30回記念伝統工芸新作展

陶芸家 岡田裕、波多野善蔵、野坂康起、納富晋などの作品が展示されます。  
6月1日(金)～10日(日)  
山口市 山口県立美術館  
(083・925・7788)

6月14日(木)～19日(火)  
周南市 近鉄松下百貨店  
(0834・21・5000)

■金子信彦 40周年記念作陶展

6月20日(水)～26日(火)  
下関市 下関大丸  
(0832・32・1111)

## 萩市関係

■萩工業からたち会総会  
萩工業高同窓会本部の総会。

5月12日(土)午後6時30分  
萩工業高校体育館

(0838・22・0034)

■勉強会「知つちよるまあがや  
金谷天神」

5月12日(土)午後7時〜9時

萩市椿町 金谷天満宮

講師・演題▽榎下明紀「寄進絵馬について」▽樋口尚樹「金谷天満宮の歴史と造営日記」▽清水満幸「金谷天満宮についての分析」▽陽信孝「金谷天神の所蔵物の公開説明」

(0838・22・7328)

■ギヤラリー草莽の企画展

・布、シルバー、ガラス 新しいMONOとの出会い

萩の若手アーティスト濱中孝子のシルバー&ゴールドジュエリーなどが展示されます。

5月18日(金)〜22日(火)

萩市土原

長屋門珈琲内ギヤラリー草莽

(0838・26・2933)

■俣宿天十平の企画展

・伊藤慶一 陶展

### 映画「長州ファイブ」 上映映画館のお知らせ

【山形】ミュージズ(5/5/11)

【静岡】浜松東映劇場(5/9/11)

【秋田】シネマパレ(5/12/25)

【愛媛】シネマルナティック(5/12/19)

【アイ】シネマ今治(5/12/25)

国際陶芸アカデミー会員として、国内外で活躍中の陶芸家・伊藤慶一の作品展。

5月26日(土)〜6月6日(水)

萩市南古萩 俣宿天十平

(0838・26・6474)

■100 GOLD FIN

ガERS in 阿武町

ジュニア・マンス、秋吉敏子など、世界のトップ・ジャズピアニスト10人が来日。

5月27日(日)午後6時30分

阿武町奈古

阿武町町民センター

チケット 8500円(462席・全席指定)

問い合わせ 阿武町役場総務課(08388・2・3111)、喫茶ヴィレッジ(0838・25・6596)

■彩陶庵の企画展

・萩・4人のうつわー3

若手陶芸家 金子司、濱中史朗、中島大輔、野坂和左の作品が展示されます。

6月9日(土)〜17日(日)

萩市呉服町 彩陶庵

(0838・25・3110)

■テレビ・シネマ情報

■土曜ドラマ「病院のチカラ」

星空ホスピタル

萩出身の俳優・松本実が、主人公(菊川怜)の同僚の新米外科医役でレギュラー出演中。

放送予定日 5月5日(土)、12日(土)午後9時〜9時58分

※4月7日から毎週土曜日(全6回)に放送中

放送局 NHK総合

■いい旅・夢気分

「春の小京都 萩・津和野を巡る」をテーマに、あおい輝彦、伊吹吾郎、吉村涼が2泊3日の旅をします。

放送予定日 5月9日(水)午後8時〜8時48分

放送局 テレビ東京系

■出沒!アド街ック天国

「今、散策したい!ニッポン懐かしい風景が残る街BEST77」で、萩が紹介されます。

放送予定日 7月7日(水)午後7時〜10時

放送局 テレビ東京系

■映画「長州ファイブ」アンコール上映

5月12日(土)〜18日(金)

萩ツイン・シネマ

(0838・26・6705)

■映画「バッテリー」



萩市須佐出身の林弘久さん(萩高昭和50年卒、滋賀県在住)

の次男、林道都くん(16歳)が、主役の中学生ピッチャー・原田巧役を演じています。

### 出版情報

■松尾正人著「木戸孝允」

倒幕の志士「桂小五郎」から明治国家の建設に奔走する政治家「木戸孝允」へと変貌していく姿、版籍奉還、廢藩置縣の断行など、木戸の後半生にスポットを当て、知られざる個性に迫る一冊。

定価 2730円

出版社 吉川弘文館

■内田清虹の文庫表紙画

萩出身の日本画家 内田青虹の絵が、光文社文庫3月新刊の歴史小説「信玄の正室」(阿井景子著)の表紙カバーに使われています。定価 553円



出版社 光文社

### プレゼント

①阿武町福賀産のもち米を原料に、福の里女性部が手づくりした「平餅(真空パック)」を3名様

②萩シューマーとの「萩の鮮魚詰合せ」を1名様

応募方法 ハガキに住所、氏名、電話番号、近況などを明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。締切は5月25日。

### 春のイベント情報

■萩・夏がなまつり

▽5月19日(土)、20日(日)午前10時〜午後4時

▽萩市平安占町 かんきつ公園・旧田中別邸

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

■浜崎伝建おたから博物館

▽5月20日(日)午前9時〜午後4時

▽萩市浜崎本町筋周辺、魚市場、御船倉、住吉神社、梅屋七兵衛

▽萩市須佐出身の林弘久さん(萩高昭和50年卒、滋賀県在住)

旧宅ほか 問い合わせ 萩市まちなみ対策課 (0838・25・3238)

■GW中のイベント

●萩焼まつり

▽5月1日(火)〜5日(土)

▽萩市椿 市民体育館

●萩・大茶会

▽5月3日(木)〜4日(金)

▽萩市堀内 萩城跡指月公園 萩博物館ほか

●萩往還まつり「技・明木展」

▽5月3日(木)〜4日(金) 萩市明木市 乳母の茶屋周辺



「東京で里帰り」をテーマに、萩大志館が4月14日、東京のLiveレストラン青山（港区南青山）で「はぎっこパーティー」を開催しました。

テーブルには萩の味が並び、ステージでは萩写真のスライドショーが流れ、テラスでは萩夏みかんの生絞り体験が行われ、お土産に萩の特産品の販売が行われました。

野村萩市長も駆けつけ、東京の下真中で総勢73人の萩っこが萩弁で萩について熱く語り合うという萩空間を作り上げ、自然と笑顔で溢れかえりました。ま



萩っ娘

さに東京の一角が萩でした。このイベントは皆様の協力で開催されました。そんな萩を思う熱い気持ちに感謝します。次回イベントで再び会えることを楽しみにしています。

萩大志館事務局(070・6479・3444) 中村

# 東京ミッドタウンと萩

3月30日、東京港区六本木にグランドオープンした東京ミッドタウン。完成披露会に、野村萩市長がゆかりの地代表として招待されました。

## ◇江戸時代の旧萩藩邸

この場所は萩藩・毛利家下屋敷だった場所です。明治時代に陸軍駐屯地となり、終戦後には米軍将校宿舎、その後は防衛庁の松町庁舎として使われていました。現在、下屋敷庭園の一部が港区松町公園として東京ミッドタウンの東側に残っています。

敷地内には、歴史を物語るものが今も数多く残っています。毛利家下屋敷跡の石組溝の石は再利用され、現在は擁壁になっています。また金銀の「永楽通宝」や毛利家紋入りの瓦、萩焼茶碗、赤間硯など80万点が出土し、建物の柱に展示されています。

## ◇萩出身の藤田伝三郎

東京ミッドタウンの施工は竹中工務店と大成建設。1887年、大倉喜八郎が渋沢栄一と萩出身の藤田伝三郎と共に日本土

木会社を創立。これが大成建設の前身で、会社組織の土木建設業としては日本初でした。

## ◇萩商工卒 山根国弘氏

東京ミッドタウンの建設にヤマネ鉄工(長門市日置)も携わっています。会長の山根国弘氏は萩商工卒業(昭35卒)。

東京ミッドタウンは今も萩・長州とゆかりがあります。



出土した磁器皿(伊万里)を、ミッドタウンの柱に展示

## 萩発 旬の味覚便り

### 嫁の皿 (ヨメガカサ)



外調理したのと。また、嫁の皿は、見島など萩沖鳥嶼部の郷土料理「ぐべ汁」の主役材料としても知られています。

嫁の皿を甘辛く煮付けて小鉢に、ビールのおつまみに最高です。ぐべ汁は、嫁の皿・鷹

嫁の皿はカサガイの仲間、大きさは最大で殻長4cm程度。萩沿岸や鳥嶼部各地の磯場や防波堤に群生しています。標準名はヨメガカサ(嫁ヶ傘)、貝殻の形が傘に似ているのが名前の由来、何故嫁の皿なのかは不明です。萩では特殊なカタチをした専用の金属ヘラで岩から剥して採り、鮮魚店などで夏場を中心にパック詰めにして販売されています。濃いエキスが出ることから、古くから貝汁や貝飯の具として愛用されてきました。「嫁の皿飯」は、かつて北浦の沿岸地区各所で、春の農作業の始まる時期、家族総出で磯遊びに出かけ、海岸で調達した嫁の皿を材料に野

の爪(カメノテ)を出汁と具兼用にしたコクのある味噌汁。最近では、嫁の皿が貴重品となってきたので、ニイナ(小型の巻貝)を混ぜることもありますが、本式は嫁の皿のみで作るといいます。濃厚な磯の味と香りっぱいの味噌汁で、食欲のない朝などでもごはんが進みます。見島の宿の朝食には、必ずこのぐべ汁が大きな椀で出てきて、思わず頬が緩んでしまいます。嫁の皿の身を取り出し、ご飯に炊き込んだ貝飯も、古くから親しまれてきた萩の郷土料理のひとつです。なお、嫁の皿は磯場や防波堤で簡単に採れますが、基本的には漁業者以外

の採取は禁止されています。